

令和8年度(2026)

「山形小説家・ライター講座」

第11回鶴岡出張講座



講師

堂場瞬一氏

(ベストセラー作家)

講師兼司会

池上冬樹氏

(文芸評論家)

第1部 講評

(提出された作品の講評を行います)

第2部 トークショー

Profile

1963年、茨城県生まれ。新聞社勤務のかたわら小説を執筆し、2000年、野球を題材とした『8年』で第13回小説すばる新人賞を受賞。翌年から警察小説の鳴沢了シリーズを開始して、4作目から文庫書き下ろしに移行。これが大ヒットして、複数の警察小説のシリーズを文庫書き下ろしで書いていく。時代小説の名手・佐伯泰英とともに文庫オリジナル＝単行本と同じく高品質の作品のイメージを植えた先駆者。これぞ警察捜査小説という「警視庁追跡捜査係」「アナザーフェイス」「ボーダーズ」などのシリーズの一方、これぞスポーツ小説（駅伝小説『チーム』、マラソンがテーマの『ヒート』など）、これぞハードボイルド（『ピットフォール』）、これぞ政治小説（『デモクラシー』）など実に幅広い分野の秀作を書き続けている。ほかに、『八月からの手紙』『警察回りの夏』『社長室の冬』『焦土の刑事』『宴の前』『凍結捜査』『インタビューズ』『小さき王たち』『オリンピックを殺す日』など。また、2025年にドラマ化された唐沢寿明主演の『コーチ』をはじめ、映像化された作品は多数あり。昨年11月『チームIV』で著作200冊を突破。出版不況のおり、多数の出版社から多数の本を出し続ける現代日本を代表するエンタメ作家である。

日時 令和8年8月23日(日)
午後2時～4時頃

会場 出羽庄内国際村

鶴岡市伊勢原町8-32

TEL 0235-25-3600

先着 150名様

受講料 500円

※高校生以下無料



受付は6月23日(火)午前9時30分より開始します。

【申込方法】

- ①図書館本館に直接
- ②電話：☎0235-25-2525
- ③メール：library@city.tsuruoka.yamagata.jp
- ④電子申請：Googleフォーム(上記二次元コードからアクセスできます)

受講料は当日にいただきます。詳しくは鶴岡市立図書館本館までお問い合わせください。

「山形小説家・ライター講座」とは…／

本講座は、平成9年(1997)4月、直木賞作家である高橋義夫先生を講師としてスタート。その後、平成12年(2000)から、山形市在住の文芸評論家・池上冬樹先生が講師兼世話役を引き受け、現在までたくさんの受講生とともに歩んできた“真剣かつカジュアル”がモットーの、有志による愉快的自主運営の文学講座で、今年度は10回、遊学館(山形市緑町一丁目2-36 山形県立図書館併設)とオンラインで開催しております。第一線で活躍中の作家や評論家の方を講師としてお招きし、受講生が提出する短編作品(毎回3~5本)をテキストにして、講評ならびにトークショーを行っています。

小説・エッセイ・詩・短歌など文章を書くことが好きな人はもちろん、書かないけれど、本を読むことが好きな人も歓迎しています。なお、講座の様子はYouTubeで配信している「出羽が生み出す文士たち」(2025/22min/監督:佐藤広一)でご覧いただけます。こちらも御覧ください。

「鶴岡出張講座」とは…／

平成28年(2016)9月より、鶴岡市立図書館が主催として年1回のペースで開講。これまで、三浦しをん氏、角田光代氏、村田沙耶香氏、中島京子氏、井上荒野氏、穂村弘氏、あさのあつこ氏、逢坂剛氏、酒井順子氏、佐伯一麦氏を講師に迎え、本講座のスタイルをそのまま鶴岡に持ってきて、テキストの講評とトークショーを行っています。

「山形小説家・ライター講座」 令和8年(2026) 講師一覧

※敬称略

▶通常講座

- 4月26日(日) 渡辺優(小説すばる新人賞作家) ○
- 5月24日(日) 穂村弘(歌人・エッセイスト) ●
- 6月28日(日) 酒井順子(エッセイスト) ○
- 7月26日(日) あさのあつこ(ベストセラー作家) ○
- 9月27日(日) 葉真中顕(大藪春彦賞作家) ●
ゲスト=深町秋生(ミステリ作家)
- 10月11日(日) 城戸川りょう(ミステリ作家) ●
- 11月29日(日) 角田光代・井上荒野・江國香織
(直木賞作家たち) ●
- 1月24日(日) 三浦しをん(直木賞作家) ●
- 2月28日(日) 小池昌代(詩人・小説家) ○
- 3月28日(日) 佐伯一麦(野間賞作家) ○

興味のある方は、是非ともご参加ください。

○印はオンライン、●印は遊学館を会場に
対面&オンラインの併用講座となります。なお、上記以外にも、課題
図書の見直しに対し講評する、「書評講座」も開講されます
(2025年度は3回。こちらはオンライン)。講師は今年
度も豊崎由美氏がつとめます。

これらの詳細については、「山形小説家・ライター講座」
のX(旧Twitter)・Facebookをご覧ください。

提出方法

- 提出する小説・エッセイのテキストの長さは原稿用紙80枚以内。テキストにはあらすじ(400~600字程度)も添付してください。
- 当日講座に参加できる方のみ、作品の提出を受け付けます。
- 提出されたテキストは、池上冬樹氏が講師との相性などを考慮し決定します(当日取り上げる作品は数本と考慮しております。応募多数の場合、テキストの採用を見送る場合がありますので、ご了承ください)。
- テキストは文書作成ソフト「word」にて読みやすい形(A4横、40×30字程度の縦書き)で作成し、下記アドレスにメール添付にて、または鶴岡市立図書館カウンター窓口にてデータを提出してください(データ提出はCD・DVDにてお願いします。USBメモリ等での提出は、セキュリティの点からご遠慮願います)。
- テキストに選ばれた方には、電話にて連絡いたしますので、当日繋がる電話番号も明記してください。

テキスト提出の締め切り 8月9日(日)

テキストの提出先

library@city.tsuruoka.yamagata.jp または、
sakka.naro@r7.dion.ne.jp

※表題に【出張講座用テキスト】と明記してください。



テキストの事前配布

- 参加申し込みいただいた方には、8月15日(土)より、鶴岡市立図書館カウンター窓口にて配布します。
- なお、当日、会場でも配布します。